



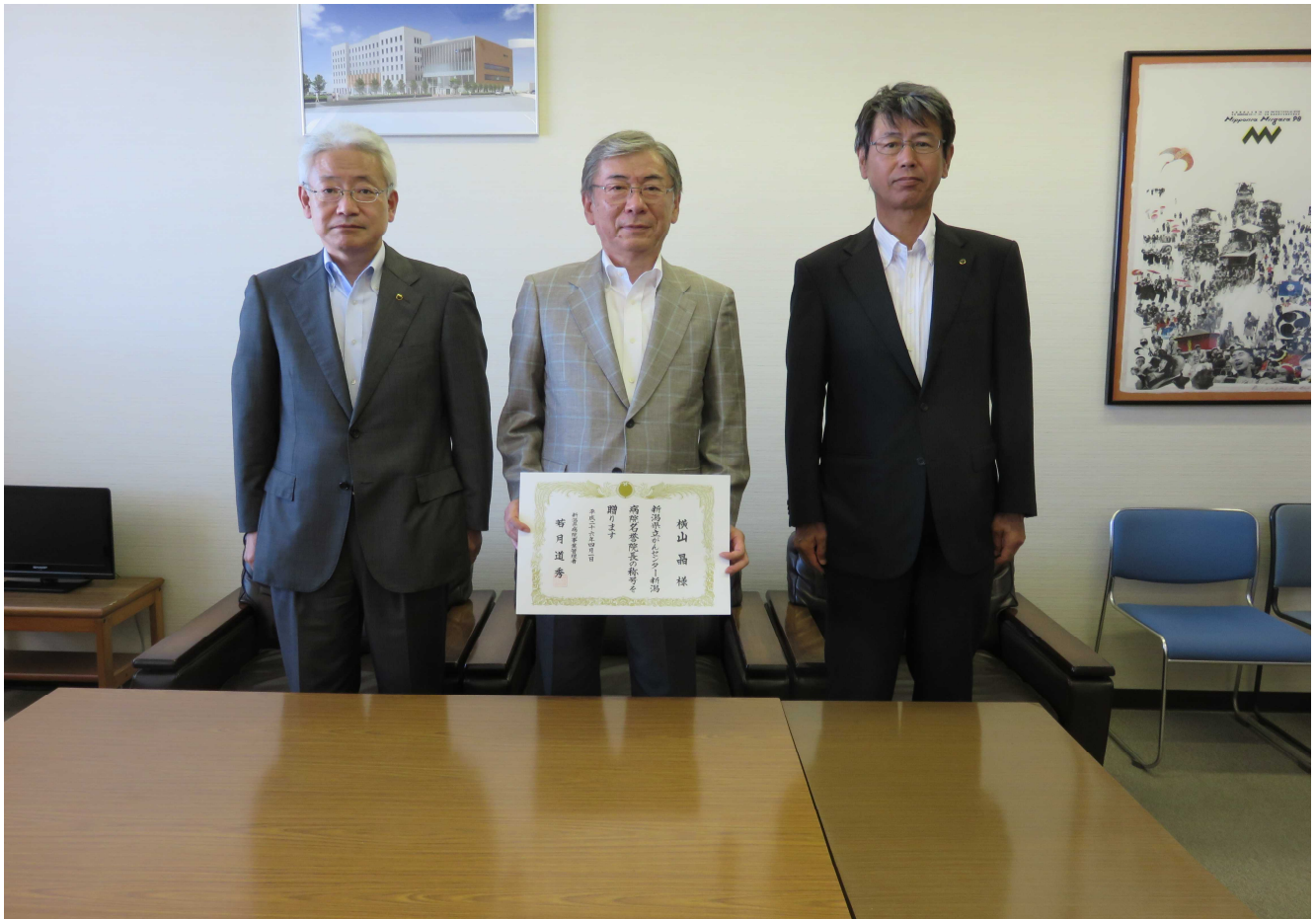
県立病院ニュース

病院に関係する全ての人から信頼される病院を目指して

第134号 平成26年7月 病院局発行

名誉院長称号授与式

～がんセンター新潟病院前病院長 横山 晶 先生～



【写真】(左から)若月病院局長、横山がんセンター新潟病院名誉院長、佐々木病院局次長

がんセンター新潟病院名誉院長称号授与式が、6月23日病院局長室で行われ、がんセンター新潟病院前院長横山晶先生に名誉院長の称号が病院局長から授与されました。

横山先生は、昭和48年3月、新潟大学医学部を卒業後、福島県立会津総合病院を経て、昭和50年5月から県立がんセンター新潟病院に赴任されました。その後、平成元年に県立がんセンター新潟病院内科部長、平成13年に同病院臨床部長、平成15年に同病院副院長を経て、平成23年より同病院の病院長となり、平成26年3月の退職までの3年間病院長をお勤めになりました。

卓越した指導力のもと、がん治療の機能強化に取り組まれるとともに、病院経営にもその指導力を発揮され、健全経営状態が維持できるよう経営改善に尽力されました。長年、県立病院の安心・安全な医療の提供にご貢献いただき、これまでのご尽力に改めて感謝いたします。

スマイル “みょうこう” 活動展開中

～妙高病院、地域の皆様に温かい医療を提供します。～

妙高病院では「地域の皆様に安全で温かい医療を提供する」ことを理念として掲げ、その実現のためにスマイル”みょうこう”活動を展開中です。昨年度は応援キャラクター「スマP（スマピー）」を作り、信頼される病院を目指しています。

み：みんなで
よ：良い身だしなみ
う：美しいあいさつと
こ：ことばづかいで
う：うれしいえがお



スマイル活動にふさわしい
職員作成による妙高病院オリジナルの
笑顔になるゆるキャラ「スマP」

また、癒しの病院としてリハビリ室に離床患者を集め「折り紙」「塗り絵」「ゲーム」「歌」等で楽しむ「じよんのび広場」を設営し、ボランティアの方から作品作りを教えていただいたりしています。ここ数年は七夕コンサートを企画し、「じよんのび広場」で作成した短冊や折り紙を飾り付け、ボランティアの皆さんや職員による唄・踊りを披露しています。



地元老人クラブの皆さんが、病院正面玄関前の花壇の土作り・花苗の植え込み等に取り組んでいます。美しい花々が来院者をお迎えしています。

スキー事故に対応する整形外科休日診療 ～特徴ある医療の提供～

妙高地域には現在7つの温泉地と8つのスキー場がありますが、スキー客はバブル期後半の平成3年の400万人をピークに下降し現在は85万人程度となっています。JR東日本妙高高原駅には昭和30年の駅前のスキー客でごった返している写真が飾ってありますがこれは昔の話。車社会となり長野オリンピック開催に合わせて上信越道が開通したこともあって鉄道を使う人が減ってきています。来年春に開通の北陸新幹線にスキー等の観光客増加を期待するところです。スキー客がピークの約5分の1に激減していますが、地元にとって冬季のスキーが大事な産業であり、お客さんが安心してスキーが楽しめるよう、例年12月下旬から3月下旬にスキー事故対応の整形外科休日診療を行っています。



地域向け広報誌「なじょだね」の取組

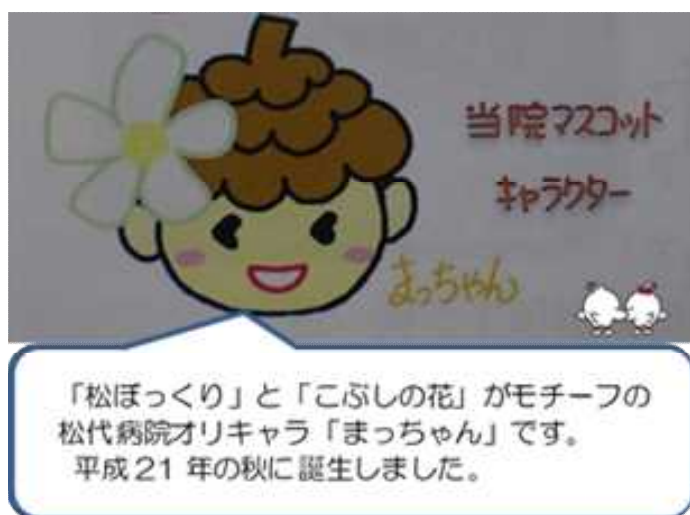
～松代病院、スタッフ一丸となって～

信頼される病院づくりに向けた活動の一環として、松代病院では、院外広報誌「なじょだね」を、春夏秋冬の年4回のペースで発行しています。患者として、また家族として、病院利用者の9割以上を占める松代・松之山地域に暮らす住民のみなさんに、病院ならではの役立つ情報や、病院で取り組む催しなど、様々な情報を積極的に発信しています。

ネット全盛の昨今ですが敢えて「紙」で発行し、少しでも皆さんに関心を持ってもらえるようにカラー刷りにし、十日町市の広報誌配布時期に合わせ「回覧版」として地域に密着したスタイルで住民の手元へ届くようにしています。配布にあたり、十日町市松代支所及び松之山支所地域振興課の方々や、各地区の総代さん等にご協力頂いています。

少しでも病院の日常を知っていただき、病院を身近な存在と感じてもらえるよう地道に発行を重ね、この春で通算第29号となりました。目下、区切りの30号目の発行に向け、日常業務の合間を縫って準備を進めています。(7月中発行予定)

企画から記事集め、編集、校正、印刷、折込、回覧に乗せるための役場支所での準備作業まで文字どおり「自前」です。自分達の仕事が住民の目に直接届き、評価されることになるのでゴマかせません。



[写真上]松代病院マスコットキャラクター「まっちゃん」



[写真上]地域向け広報誌「なじょだね」

広報誌は、院内各部署の代表者で構成される「広報委員会」を中心に制作しています。総勢70人足らずの所帯ですから、ネタ出しや原稿執筆等は職種や立場を問わず病院スタッフが協力して行っています。広報誌はスタッフにとっても色々な意味で「身近」なものです。忙しい中、信頼される病院づくりのため、誰もが真摯に協力しています。

イメージ UP 大作戦??毎年恒例「七夕飾り」

～患者様に喜んでいただけますように 各病院の取組～

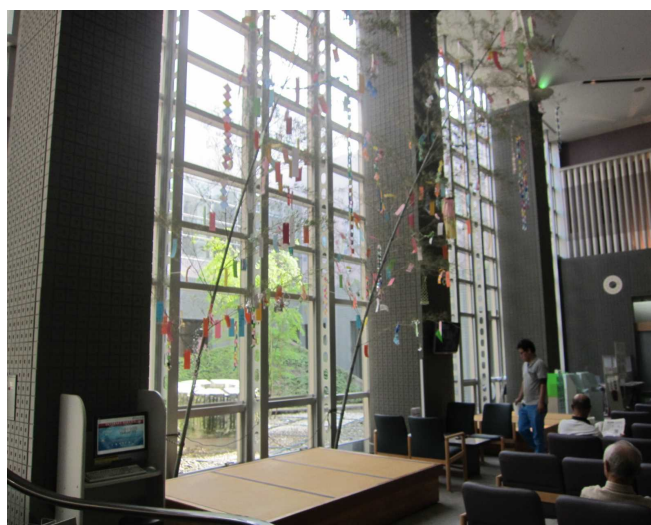


7月といえば・・・「海」、「キャンプ」、「ビール」人それぞれ思うことがありますが、その一つ「七夕」の時期ですね。県立病院では信頼される病院づくりの活動の一環として、それぞれの七夕イベントを開催しました。各病院が趣向をこらし、患者様に喜んでもらえる七夕になったのではないのでしょうか。

[写真左]十日町病院 正面玄関七夕飾り



[写真上]新発田病院 七夕飾りと看護部の皆さん



[写真上]中央病院 七夕飾り



[写真上] 柿崎病院 七夕コンサートの様子等

オカリナ演奏や大正琴の演奏等地域のボランティアの方も参加

ブレイク ～柿崎病院お引き上げ民謡流し～
6月22日(日)、今年で4年目となる、地域の民謡流しへ参加しました。沿道からは患者様やご家族の方から多くの声掛けをいただきました。



「信頼される病院づくり」にかかる取組をお知らせください！

皆様からの「こんなことやっているよ」という情報提供や投稿を心からお待ちしています！

病院局業務課改革室

E-mail: ngt400020@pref.niigata.lg.jp

